

# ALTの運営の責任者 副校長 鎗田先生に聞く

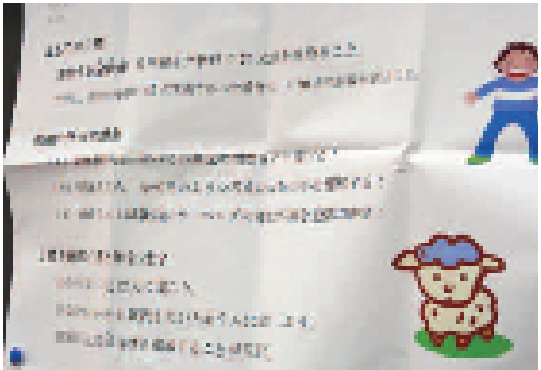
eトレを活用したALTという放課後学習の仕組みは、横須賀学院中学高等学校の副校長をされている鎗田先生が、自ら試行錯誤しながら作り上げたシステムです。最初は思うようにいかない事も多く、色々と苦労もあったとのことでした。それでは実際のALTの運用に関して、鎗田先生にお話を伺ってみましょう。



## ALT成功の秘訣は生徒による自主運営

Q 実際のALTの様子を見学させていただいて、生徒の間で放課後学習というものがこ

く自然に行われているということに、本当に驚きました。ここまで来るのには色々と苦労もありだったと思いますが、スタートしたときはどんな様子だったのですか。



▲黒板にはALTの目標・注意書き



▲もくもくと勉強する生徒たち

鎗田 正直色々と大変でした。最初、この放課後学習のスタッフについては、教員だけでやろうとしたわけですが、ところが、教員がみんなパソコンを得意としているわけではありません。eトレの操作自体はシンプルなものですが、それでもパソコンに苦手意識を持っている先生は、なかなか操作を覚えてくれません。ところが面白いことに、もたも

たとパソコンを操作している先生がいると、生徒の方が手助けしてくれるのです。ほとんどの子どもはパソコンが大好きだし、大人よりもよっぽど覚えも速いのです。そこで、eトレパソコンの操作に関しては思い切って生徒に任せることにしたので。もちろん全員に勝手に触らせるわけにはいきませんので、操作だけでなく教室の管理も任せられる生徒を選び、Student Teacher (ST)と命名して、このALTを任せました。

ALTの目的は『自学自習をつけること』です。なまじ先生が教えずではいつまでたっても自学自習はできません。そこで生徒たちにはALTの勉強法として、次のようなことをしっかりと呼びかけています。

## ALT勉強法

- ① まずは教科書やノート、ラーニング(eトレの解説プリント)を見て自分で考えよう
- ② それでもわからなければ、友達に聞いてみよう。

- ③ それでもわからなければ、ステューデントティーチャー(ST)に聞いてみよう。
  - ④ それでもわからなければ、ティーチングアシスタント(TA)に聞いてみよう。
  - ⑤ それでもわからなければ、先生に聞いてみよう。
- つまりは、まずは自分で解説を読んで、それでもわからなければ、友達同士で教えあう、ということを大前提としているのです。もちろんそれでもわからなければ、大学生や先生が控えているのですが、実際には大学生や先生の出番はとて少ないのが実情です。eトレのラーニング(解説)プリントはとてもよくできていて、たいいていの生徒はそれだけでなかなってしまいます。また、それでわからないときも、生徒同士が、その解説プリントを見ながら教えあうことでうまくいくようです。生徒同士だと、先生に質問するよりも気軽に聞けるし、教える方も自分でもさらに良く理解できて、とてもいいですね。

**確実に成果を出すために、計画は完全実行させる**

**Q** 現在、eトレを使って放課後学習をさせることで、特に気をつけていることはありますか。

**鎗田** それは、



トの要点や単語などをしっかりと読んで覚えさせるとい

うことを徹底しています。また数学については、わからないところをそのままにしないよう、必ずわかるまで友達や大学生アシスタントにしっかりと質問するように注意しています。

**eトレで考えが変わりました。補習よりも問題演習**

**Q** それでは最後に、eトレを活用したALITの今後の抱負などありましたら教えてください。

**鎗田** 現在ALITを盛り立ててくれているSTの立場を、もっと上げてやりたいと思っています。例えばクラス委員のよ



▲もくもくと勉強する生徒たち

うなSTバッチを作成したり、あるいは良くやってくれるSTを表彰したりしたいと思っています。

ます。

あとは、落第しそうな生徒に対して先生からの働きかけでなく、生徒同士の働きかけでALITに参加させるような雰囲気作りができればいいと思います。勉強につまずいている生徒がいれば、その友達をALITに連れてくるのが真の友情ではないでしょうか。そういった形でALITが友情を育むきっかけになればと思います。

いずれにせよ、ALITを最大限活用して、生徒全体の学力の底上げを図っていきたいと考えています。最初は生徒も先生も半信半疑でしたが、今では誰もが『eトレを使ったこのALITで確実に成績が上がる』と思っています。

正直私はこれ（eトレによるALIT）をやった。それまでは生徒の成績を上げるのは、『先生による補習授業』が一番だと思っていました。しかし今は違います。成績を上げるためには『補習授業で教えるより、一問でも多くの問題を自分で解かせること』が一番だと思っています。前にeトレの資料にあった『DUT』理論が正しかったと、身をもって感じています。

これからも、生徒の学力向上に向けて、一杯eトレを活用してALIT（放課後学習）を広げていきたいと思っています。